

プレスルーム製品
オフセットプリント用システムソリューション



コーター版

コーティングフォイル

仕立て材



40年の歴史をもつフォーレックス・ドイツ社

「ゴールデンショット」を以って、Vico Torriani(ヴィコ・トリアーニ)は1968年8月25日にドイツのテレビに色彩をもたらし、フォーレックスASポリエステル製モニタージュフォイルの世界的普及のスタートを切りました。有力雑誌社は、広告市場の要求に応じてより多くのカラーを使用しなければなりませんでした。従来からのガラス上へのフィルム製作は、印刷会社における4色刷り分野ではもう限界となりました。簡単で頑丈なソリューションは、透明なポリエステルフォイルによってもたらされました。短期間のうちに、多くの印刷会社が当社の耐静電モニタージュフォイルを採用しました。オフセット用フォーレックスASならびにグラビア用フォーレックスANは、カラーセットモニタージュ用のポリエステル-モニタージュフォイルの同義語となりました。

各顧客が独自のサイズを希望したため、シュヴィッツ(スイス)のフォーレックス本社における生産能力が限界にまで達しました。これは、1968年のドライアイヒにおけるフォーレックスDr. シュロイスナーGmbHの設立を決定的なものにしました。

さらに同年にはハンブルグにテクノプラスト・コーティング会社が設立され、モニタージュフォイルと並んで同様に拡張しつつあるグラビア印刷のピグメントペーパー用のフォイル市場に参加しました。

1973年には、テクノプラスト社はケルン市に移動し、新しい工場内における時代に適した条件下で印刷産業用の高度製品を生産し、現在に至っています。

1978年には印刷業界向けに、版胴とブランケット胴用の下貼り用に開発された糊付きポリエステル・アンダーレイフィルムH 45(現在の商品名は フォラベスH 45)が紹介されました。技術に沿った改良と新種類を通して、この製品分野は今日まで常にユーザーのニーズを満たして発展してきました。

両企業の製品ラインアップにおける提携関係を深めるために、1990年にはフォーレックスと合併しました。この時期には、パッケージ印刷におけるインライン・コーティングも重要になってきました。商標名フォラコートの下で多数の特許および意匠登録を通して、またポリマーベースのストリップ型コーター版を通して、当社は市場と技術面のリーダー的地位を獲得しました。当社のシステムソリューションであるフォラコート・コーティングプレートおよびフォラコンプ・コンプレシブル型仕立て材に関する最新製品の一覧は、後続ページをご参照ください。

この主要市場への商品に平行して、フォーレックス企業グループはそのノウハウを他の「問題解決」にも利用しました。例えば、UVインキ用の特殊カラーボックスフォイルが考案され、輪転機の分野ではインキ付着を防ぐアンチマーキングフィルムを開発し、すでに市場を拡大しつつあります。印刷分野におけるあまり目立たない部分において、フォーレックス製品は印刷品質の高度化に貢献しています。

コーティングプレート	4-9
汎用製品	4
コンプレシブル製品	6
特殊製品	8
コーティングフویل	10
コンプレシブル型仕立て材	11
粘着剤付/粘着剤なし	11
一覧	11
用語集	11

 水性ニス用	 CAD-カットシステムに最適
 UVニス用	 ハンドカット可能
 カットプロテクト(2重層)	 コンプレシブル型発泡材
 スライドフویل / プロテクトフویل	 透明
 カット線可視型	 粘着剤付き
 ジアゾコーティング(UV光線に反応)	 XXL(特大)サイズ版
 ポリエステル基盤	 フレキシブル
 アルミ基盤	 ダイレクトコーティングに推薦
 折り曲げ可能	 インダイレクトコーティングに推薦

コーティングプレート

フォラコート・コーター版を利用すると、簡単な手順でお望みのコーター版を作ることが可能になります。ニスに乗せる部分ではレリーフとなるピンク層を版面に残し、ニスを乗せない部分では、ピンク層をはがし取ります。この製版作業は印刷機の外で行いますので、印刷機の無駄な停止時間が増えるのを防ぐことができます。ニスコーティング用に特別に開発されたポリマーが使われています。これは印刷ブランケットなどでインクの転移に使われるものとは性質の異なる材料です。特殊なポリマーを使っているためフォラコート・コーター版面にはインキが残ったり、堆積することがありません。フォラコート・コーター版は、クッション性を備えたフォラコンプ仕立て材と組み合わせて使用することを勧めます。

汎用製品

適用範囲が広いフォラコート・コーター版は、水性ニスとUVニスの塗布に適します。伸縮の少ない基盤層に張られたポリエステル・カットプロテクトは、基盤層への深切りのリスクを減らすことができます。それにより、ハンドカットの場合でも、CADカットでも、基盤層が1層しかない他のコーター版よりはるかに安全に作業を進めることができます。CADカット機のヘッドが材料の表面をスムーズに滑るようにするため、スライドフォイル付きの製品もあります。シリコンをスプレーする必要はありません。スライドフォイルをカットすると、カット線がよく見えるようになり、はがす部分と残す部分を正しく見分けることができます(=カット可視化)。このように、不要な「露出部」は、それによって回避することができます。

■ フォラコートプラスPET

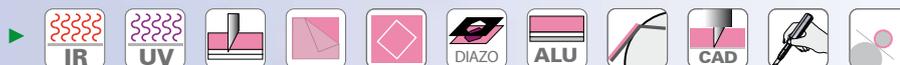


標準製品のフォラコートプラスPETは、引き裂きに対する強度が高く、伸縮のない二重ポリエステル基盤層とニスを転移するポリマー層から構成されています。

標準品の厚さ： 1.15 / 1.35 mm

ハンドカットで製版するには、フォラコートプラスPETジアゾが最適です。表面には、スライドフォイルの代わりに感光性をもつジアゾ層があり、カットする絵柄を表面に映し出すことができます。

■ フォラコートプラスALU



フォラコートプラスALUは、切断、引き裂きに強く、伸縮のないアルミとポリエステルを組み合わせた基盤層、ニスを転移させるポリマー層でできています。この製品は、コーター版の尻側を折り曲げる必要がある場合（自動版交換装置を備えた印刷機など）に勧めます。印刷に使用されるブランケットをカッティングする場合や、アルミ板にブランケットを貼り付けた材料をカットする場合に比べると、カットプロテクトはプロッターのナイフを長持ちさせるのに大いに役立ちます。さらに同じ版を何度も繰り返し使用した場合でも、アルミ基盤層が破損しないですみます。

標準品の厚さ： 1.15 / 1.35 mm

フォラコートプラスALUは、オプションでジアゾ層付きも用意されています。

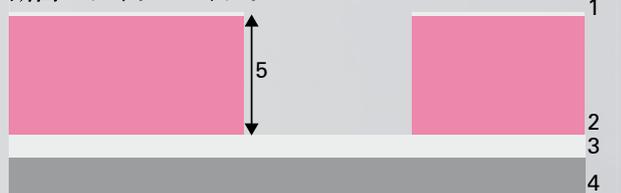
■ フォラコート・エクストリームPET



フォラコート・エクストリームPETは、引き裂きに対する強度が高く、伸縮のない二重のポリエステル基盤層と、膨潤の少ないポリマー層（ニス転移層）により構成されます。この製品は水性ニスに比べると攻撃性の高いUVニスや洗浄剤に対して高い耐性を持っています。

標準品の厚さ： 1.15 / 1.35 mm

断面： フォラコートプラスALU



- 1 スライドフォイル(「ストリップ」後に除去)
- 2 ニス転移ポリマー
- 3 ベース用カットプロテクトとしてのポリエステルフォイル
- 4 アルミニウムベース
- 5 レリーフ高 0.75 mmあるいは0.95 mm

コンプレシブル製品

フォラコート・コンプシリーズのコーター版は、伸縮のない基盤層、コンプレシブル性を有する発泡層とニス転移させるポリマー層でできています。この特殊構造のおかげで、セットアップ時にローラーの版面へのタッチを軽くて理想的な状態にすることができます。印刷スタート時のトラブルを減らし、印刷機のベアリングが保護され、さらに機械が出す騒音も減らすことが可能です。非コーティング部分がはがれるのは、基盤層でなく発泡層です。このため基盤層にキズが入るリスクを最少に抑えることが可能です。カットヘッドがスムーズに滑るようするため、コーター版にはフォイルが張られています。スライドフォイルをカットすると、カット線がよく見えるようになり、はがす部分と残す部分を正しく見分けることができます(=カット可視化)。コンプレシブル性を持たせたコンプシリーズ・コーター版は、CADカットシステムならびに水性ニスの塗布用に推奨します。高いコンプレシブル性により、印圧を極めて軽く設定できるため、最大Eフルートまでの段ボールに対するコーティングも可能です。レリーフ高さを高めるためや、あるいはUVニスのコーティングには、ディープカットシリーズのコンプレシブル型コーティングプレートを推奨します。

■ フォラコート・コンプPET



フォラコートコンプPETは、破損や引き裂きに対して強く、伸縮のないポリエステル基盤層をベースとしています。

標準品の厚さ： 1.15 / 1.35 mm

■ フォラコート・コンプALU



フォラコートコンプALUは引き裂きに強く、伸縮のないアルミとポリエステルで構成した基盤層で構成しています。基盤層はアルミですから折り曲げ可能で、自動版交換装置を備えた機械での使用に最適です。

標準品の厚さ： 1.15 / 1.35 mm

断面： フォラコート・コンプPET(1.35 mm)



- 1 スライドフォイル(「ストリップ」後に除去)
- 2 ニス転移ポリマー
- 3 圧縮可能な発泡層
- 4 ベース用カットプロテクトとしてのポリエステルフォイル
- 5 ポリエステルベース

■ フォラコート・ディープカットPET



フォラコートコンブと比較して、フォラコート・ディープカットでは発泡層がその下の分離フィルムと堅固に接合されています。しかし発泡層は、はがれる構造になっており、完全に除去することができます。レリーフの高さが高いため、ニス飛沫などでニスが版面に堆積するリスクを減らせます。さらに版の端には発泡層がなく、市販のテンションレールでは、わずかな開度で簡単に挿入することができます。採用されている材料は、水性およびUVニスのコーティングに適します。

標準品の厚さ： 1.35 mm

■ フォラコート・ディープカットALU



フォラコート・ディープカットALUは、伸縮が最も少なく、折り曲げ可能なニスコーター版です。転移層ラミネート(発泡層含む)を利用して、ここでも深いレリーフを作ることができます。

標準品の厚さ： 1.35 mm

断面： フォラコート・ディープカットPET(1.35 mm)



- 1 スライドフィルム(「ストリップ」後に除去)
- 2 ニス転移ポリマー
- 3 圧縮可能な発泡層
- 4 ベース用カットプロテクトとしてのポリエステルフィルム
- 5 ポリエステルベース
- 6 発泡材とカットプロテクト間の分離フィルムは、ポリエステルカットプロテクトまでの全ラミネートの分断ならびにすべてのより高いレリーフの削除を可能にします。張りの分野では、キャリアだけが(4と5)発泡材なしで貼り付けられます。

特殊製品

■ フォラコート・トランスパレントPET



このコーター版は、水性ニス塗布に薦めます。この製品は、伸縮の少ないポリエステル基盤層と、ニスを転移させる透明ピンクのポリマー層で構成しています。カット用テンプレートを下敷きにすることができ、材料が半透明であるため、絵柄が見やすくなります。CADカットシステムでの製版を楽に行うために、表面にはスライドフォイルが張ってあります。

標準品の厚さ： 1.15 / 1.35 mm

■ フォラコート・スマートPET



フォラコート・スマートPETは、カットプロテクト、ニスを転移するポリマー層、伸縮の少ないポリエステル基盤層で構成した廉価なコーター版です。このコーター版は、水性、UVニスの両方に利用することができます。

標準品の厚さ： 1.15 / 1.35 mm

■ フォラコート・インダイレクトPETジアゾ



フォラコート・インダイレクトPETジアゾによって、印刷機上での水性ニス・コーティングが可能となります。コーター版を版胴に巻きます。ニス塗布は、ブランケットへの転移を経由して行われます。フォラコート・インダイレクトPETジアゾは、伸縮の少ないポリエステル基盤層ならびにジアゾ層をもったニス転移用ポリマー層で構成されます。

標準品の厚さ： 0.65 mm

ご要望に応じて、CADカットシステムでの製版用にフォラコート・インダイレクトPETの代わりとしても利用できます。これは感光性のジアゾ層の代わりに、カット線の見えるスライドフォイルが装着されています。

■ フォラコートXXL PET



フォラコートXXL PETは、大型機械用に開発されたコーター版の名称です。これは伸縮の少ないポリエステル基盤層ならびに水性、UVニスを転移するポリマー層から構成されています。

フォラコートXXL PETは、サイズ7以上の大型印刷機用として用意されています。

標準品の厚さ： 1.15 / 1.35 mm

■ フォラコート・イージースポット



ポジスポットのような小さなコーティング面には、感圧接着タイプのポリマーフィルム、フォラコート・イージースポットを推薦します。照射されるプリントプレート上への貼り付けを通して、安いコストでコーター版を作成することができます。フィルムが透明であるため、正しい位置にスポット版を貼ることができます。調整は手で行うことができます。CADカットシステムによるコーター版作成も同様に可能です。フォラコート・イージースポットは、水性ニスとUVニスの両者に使えます。

巻取り製品の標準幅: 1060 / 1,260 mm

標準品の厚さ: 0.90 / 1.10 mm

■ フォラコート・イージースポットXXL



サイズ7以上のサイズの印刷機にはフォラコート・イージースポットXXLを利用します。XXL-製品は、フォラコート・イージースポットと比べると、感圧接着型の不透明なポリマーフィルムと言えます。

巻取り製品の標準幅: 1,560 mm

標準品の厚さ: 0.90 / 1.05 mm

スライドフォイルを通したカット可視化



ストリップ可能なコーティングプレートでは、エレメントは鏡反転状にポリマー内にカットされます。



上部のフォーレックス・スライドフォイルは、CAD-カットヘッドのスライドをサポートし、カットの識別可能性を高めます。



フォーレックス・ピッカーを利用した非画線部ののぎ取り。コーナー部から中心へ向かって行います。



形成されたくぼみにはニスが付着しません。切り口はクリーンで、十分な高さのレリーフを形成し、繊維くずがありません。

コーティングフォイル

■ フォラコート・フレキシブル



コンプレシブル型のフォラコート・フレキシブルは、少量印刷物を対象とした高品質の水性ニスコーティングに利用します。ブランケットと仕立て材を組み合わせたこれまでの全面コーティング方式に比べると、フォラコート・フレキシブルは硬いポリエステル基盤層の代わりに、下地材にぴったりと重ね合わさる柔軟なポリエステル繊維を使っています。コンプレシブル型発泡層は、フレキシココーティングにおいて必要とされる高度なフレキシブル性を持たせることができます。

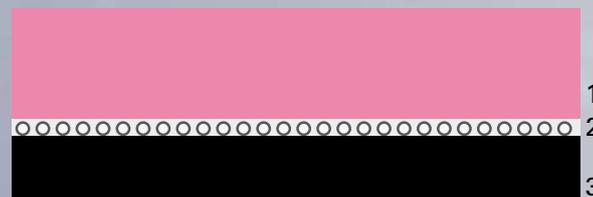
表面は性能を実証済みのフォラコート・ポリマーが使われており、ニス転移は理想的に行え、しかもインキの堆積はほとんどありません。そのためインキ汚れのため版面を洗う回数を減らすことができます。

フォラコート・フレキシブル版には、コンプレシブル性に欠ける天然繊維は使われていません。摂氏60°までの環境下では厚みの安定性も十分維持することができます。用紙が折れ曲がって版にはさまった時でも、発泡層によるクッション性が発揮されるため、版面への被害を最小に抑えることができます。市販のブランケット材と比べると版厚は薄くなりますが、厚めの仕立て材を用いることによってカバーできます。ニス塗布部とニスなしの部分では大きな段差ができるため、ニス汚れが原因となる生産の中断を減らすことができます。

フォラコート・フレキシブル版の簡単な貼り付けには、最寄のフォレックス契約店からサポートが受けられます。

標準品の厚さ： 1.30 mm

断面： フォラコート・フレキシブル



- 1 ニス転移ポリマー
- 2 ポリエステル繊維
- 3 コンプレシブル発泡層

部分的な下敷きを用いたコーティング箇所の確定



- 1 ニス転移ポリマー
- 2 ポリエステル繊維
- 3 コンプレシブル発泡層
- 4 フォーム下地材

コンプレシブル型仕立て材

コンプレシブル型仕立て材

フォラコート・コーター版用に特別に開発されたフォラコンプ製品は、コンプレシブル型コンポネントを含む多くの厚みのものを取り揃えています。詰まりに敏感な繊維の割合は、通常の圧縮可能なゴム布下地材と比較して明らかに減少しました。各種の厚みのものを用意したので、印刷機械のタイプによって使い分けが可能になっています。紙を何枚も重ねて作る仕立て材は、もう過去のものとなりました。

粘着剤付き

■ フォラコンプPA



フォラコンプPAは、当社の圧縮可能な仕立て材の自己接着タイプです。良好なサイズ保持性の改良と稼働時間の向上のために、圧縮可能なアンダーレイフィルムはサイズの安定したポリエステルフォイルを用いて強化されました。

標準品の厚さ： 1.45 / 1.95 / 2.1 mm

■ フォラコンプFA



圧縮可能なフォラコンプFAにより、当社のフレキシブル型フォラコンプに感圧接着タイプが作られました。

標準品の厚さ： 1.2 / 1.7 mm

■ フォラコンプFA XXL



XXLタイプは、1260 mm以上の幅で利用可能です。

標準品の厚さ： 2.1 mm

非接着タイプ

■ フォラコンプF



フォラコンプFは、短時間で再生する発泡材ならびに複数の繊維層で構成される伸縮のない仕立て材です。

標準品の厚さ： 1.2 / 1.35 / 1.5 / 1.7 / 1.85 / 2.1 mm

■ フォラコンプP



フォラコンプPは、伸縮のないポリエステルフォイルを追加したコンプレシブル性を備えた仕立て材です。

標準品の厚さ： 1.45 / 1.95 mm

フォラコート - インライン・コーティング用の独創的な製品

水性コーティング	UVコーティング	ポリエステル基盤層	折り曲げ可能型基盤層(ALU)	コンプレシブル製品	レリーフ高(mm)	スライドフォイル	カットの可視化	カットプロテクト	ハンドカット	接着型	フレキシブル	推奨商品	厚み(mm)	ページ
f	f	f			0.75	f	f	f				フォラコートプラスPET	1.15	4
f	f	f			0.95	f	f	f				フォラコートプラスPET	1.35	4
f	f	f			0.75		f	f	f			フォラコートプラスPETジアゾ	1.15	4
f	f		f		0.75	f	f	f				フォラコートプラスALU	1.15	4
f	f		f		0.95	f	f	f				フォラコートプラスALU	1.35	4
f	f		f		0.75		f	f	f			フォラコートプラスALUジアゾ	1.15	4
f	f	f			0.75	f	f	f				フォラコート・エクストリームPET	1.15	5
f	f	f			0.95	f	f	f				フォラコート・エクストリームPET	1.35	5
f		f		f	0.65	f	f					フォラコート・コンプレシブルPET	1.15	6
f		f		f	0.65	f	f					フォラコート・コンプレシブルPET	1.35	6
f			f	f	0.65	f	f	f				フォラコート・コンプレシブルALU	1.15	6
f			f	f	0.65	f	f	f				フォラコート・コンプレシブルALU	1.35	6
f	f	f		f	1.00	f	f	f				フォラコート・ディープカットPET	1.35	7
f	f		f	f	1.00	f	f	f				フォラコート・ディープカットALU	1.35	7
f	f ₂	f			0.80	f	f		f			フォラコート・トランスパレントPET	1.15	8
f	f ₂	f			1.00	f	f		f			フォラコート・トランスパレントPET	1.35	8
f	f	f			0.75			f				フォラコート・スマートPET	1.15	8
f	f	f			0.95			f				フォラコート・スマートPET	1.35	8
f		f			0.45	f	f					フォラコート・インダイレクトPET	0.65	8
f		f			0.45		f		f			フォラコート・インダイレクトPETジアゾ	0.65	8
f	f		f ₁		0.90				f	f		フォラコート・イージースポット	0.90	9
f	f		f ₁		1.10				f	f		フォラコート・イージースポット	1.10	9
f	f		f ₁		0.90					f		フォラコート・イージースポットXXL	0.90	9
f	f		f ₁		1.05					f		フォラコート・イージースポットXXL	1.05	9
f	f	f			0.90							フォラコートXXL PET	1.15	9
f	f	f			1.05							フォラコートXXL PET	1.35	9
f				f	>1						f	フォラコート・フレキシブル	1.30	10

f 製品はこれに推薦される、あるいはこの特性を所有する

f₁ フォラコート・イージースポットをアルミニウム-プリントプレートに使用する場合の完成コーティングフォーム

f₂ ソフトタイプとの供用には制限あり

CAD-カットシステム: デジタル方式のプロッターカッターを指し、多くの場合フラットベッド式です。一般的にプロッターあるいはカットプロッターとも呼ばれます。カットヘッドあるいはプロッターヘッドをスムーズに滑らせるには、スライドフォイルを備えた当社のコーター版ラインアップを推奨します。

ジアゾコーティング: ハンドカットで、見当精度の高い版を作る場合には、ジアゾコーティング付きのタイプを推奨します。ジアゾの種類(例えばフォラコートプラスPETジアゾ)では、絵柄をコピーしてカットする部分をポリマー上で目で確認することができます。これにより機械の外でのハンドカットならびにはがし作業が容易に行えます。

厚み: フォラコート・コーター版、1.15 mmおよび1.35 mmの2つの厚みが標準となってきました。シリンダー・アンダーカット(切り落し量)を埋めるには、コンプレシブル型の仕立て材を利用します。フォラコンプは各種の厚みのものが用意されており、印刷機の仕様に合った仕立てを行うことができます。

水性ニス: 通常ウォーターベースのソフトなニスは、赤外線照射と温風で乾燥します。すべてのフォラコート・コーター版は、水性ニスの塗布に適します。

スライドフォイル: ニスを転移させるポリマーには、表面保護のためにプロテクトフォイルでカバーしてあります。プロテクトフォイルにより、カッターヘッドの滑りが良くなり、さらにカット後はぎ取る部分がはっきり見えるようになります。

インダイレクト: 通常、コーティング装置におけるコーティングは、直接コーター版から被印刷体にダイレクトにニスを転移させる形で行われます。一方、インダイレクト方式では、ニスを印刷ユニット内の版胴からブランケット胴にいったん転写し、ブランケット胴から用紙にニスを移します。版胴のアンダーカットが浅いため、薄い仕立て材が必要となります。厚み0.65 mmのフォラコート・インダイレクトをお勧めします。

キスプリント: キスプリントは、コーティング装置で用紙に対して極めて軽い印圧を与えてニスを転移させることです。印圧を軽くすることにより、インキ汚れが防止されます。安全に生産を継続するために軽い印圧で作業します。コンプレシブル型コーター版を使うとシリンダーギャップでのショックを軽減し、キスプリントと同レベルの軽い圧設定が可能です。

コンプレシブル型コンポジット: フォラコート・コーター版の表面はブランケットと比較してやや硬くしており、コンプレシブル型発泡剤を組み込んだ仕立て材を使用すると最適なニス塗布が可能になります。圧縮可能なフォラコンプ仕立て材は、素晴らしい性能を発揮します。発泡剤を内蔵したコーター版は、それ以上に特別なバネを組み込んだような構造となるため、シリンダーギャップでのショックを軽減し、印刷機への負荷を軽減します。コンプレシブル型材料の利用によって、ローラーの飛びを抑制し、コーター版の寿命を延ばすとともに、印刷機械を保護します。

コーティングフォイル: フォラコート・フレキシブルの発表により、天然繊維をベースとしたブランケットに取って代わる製品が初めて出現しました。詰まりを抑えるポリエステル繊維は伸縮がなく、高温下でも正確な厚みを保持することができます。高いコンプレシブル性を備えており、全面ベタコーティングにおける完全なニス塗布を実現します。

ポリマー: オイルベースインキを転写することを目的とするブランケットに対して、ニス塗布材としてポリマー合成樹脂はその優秀性を実証しました。正しいポリマーを選択すると、コーティング中におけるニス使用量を節約することができます。コーター版を頻繁に洗浄することなく、トラブルフリーの生産が可能になりました。

膨潤: 攻撃性の高いUVニスは、すべてのポリマー材に浸透して厚みを膨張させますが、これを防止する手段はありません。ただし、膨潤の低い材料をカバー層に使用することによって、膨張を抑制することは可能です。その結果、より長い稼働時間およびより高い能率性が得られます。

レリーフ: フレキシソ版コーティング装置では、ニスの塗布は版面の高いところにニスが乗ることで紙面にニスが転移します。ニス部分と非ニス部分の高さの差をレリーフと呼びます。繊維でできたブランケットでは、ブランケットの下に敷いた下紙がブランケットの一部を持ち上げることでニスを乗せる部分が決まります。ここでは、使用する布の形状に応じてレリーフが低く過ぎたり、あるいはニスと繊維が混じって被印刷体に繊維が転移する場合があります。この部分は乾燥性が悪く、シート間でのブロッキングが発生して、生産の中断を余儀なくされます。十分な厚みをもったポリマー製のカバー層は、そのような問題を軽減してくれます。フォラコート・コーティングプレートは、このような形態の層ができ、レリーフは1 mmまで実現することができます。

カットプロテクト: ストリップ型コーター版は、伸縮の少ない基盤とニスを伝達するカバー層から構成されます。基盤材料としては、ポリエステルとアルミニウムがあります。種類により、PETあるいはALUなど略記号を使用します。ベースのプロテクトには、フォラコート・コーティングプレートは通常、ベースフォイルとその上にあるポリエステル製のカットプロテクトフォイルから構成される基盤層を持っています。このように2層ラミネート構造は、基盤層にキズが入って材料が使えなくなるのを防ぎ(特にハンドカットの場合)、繰返して同じ版を使っても確実な作業が可能となります。

ストリップ: ストリップとは、ニスが乗らない部分のポリマー層を手ではぎ取ることを指します。

基盤層破壊: 調整が十分できていないカット機、またはハンドカットでは、ベースあるいは基盤層を深く切り込みすぎてコーター版としての強度を弱めてしまうことがあります。基盤層の破壊は、コーター版そのものを使用不能にしてしまいます。特にのり付きゴム片を使用する場合には、保存後および機械への再装着時に基盤層を破壊する恐れがあります。カットプロテクト付き基盤層は、基盤層破壊のリスクを軽減します。

UVニス: UVニスはポリマーニスのことで、紫外線を照射することでニスを乾燥させます。水性ニスに比べてUVニスは攻撃性が高く、コーター版の膨潤を促進します。低膨潤性のポリマーを使用した版は、長い寿命を維持することができます(例えばフォラコート・エクストリーム)。

XXL(特大): 大型印刷機械の出現に伴って、ニス用資材でも今までなかった特大サイズが必要となってきました。フォーレックスは、市場に出ているすべてのオフセット機が必要とするコーター版および仕立て材を製造しています。

folex[®]

I M A G I N G

フォーレックスAG(本社)
Bahnhofstrasse 92
CH-6423 Seewen-Schwyz(スイス)
☎+41 (0)41 819 39 39
☎+41 (0)41 810 01 35
ウェブサイト: www.folex.com
メール: int.sales@folex.ch

フォーレックス GmbH
Unnauer Weg 6c
D-50767 Köln(ケルン/ドイツ)
☎+49 (0)221 97 94 79 0
☎+49 (0)221 97 94 79 9
ウェブサイト: www.folex.de
メール: info@folex.de

Folex SARL
13, Avenue de la Gare
Montigny-Le-Bretonneux
F-78181 Saint-Quentin en Yvelines Cedex(フランス)
☎+33 (0)1 39 44 62 00
☎+33 (0)1 39 44 62 01 ou 02
www.folex.fr
folexfr@folex.fr

Folex Limited
19 Monkspath Business Park
Shirley, Solihull
West Midlands B90 4NY U.K.(英国)
☎+44 (0)121 733 3833
☎+44 (0)121 733 3222
www.folex.co.uk
sales@folex.co.uk

Folex S.r.l.
Via Leonardo Da Vinci, 43
I-20090 Trezzano sul Naviglio (MI, イタリア)
☎+39 (0)2 48 46 41 05
☎+39 (0)2 48 46 32 03
www.folex.it
folexit@folex.it

フォーレックス株式会社
船橋市山野町53-1-103,
〒273-0026 日本国千葉県
☎+81 47 420 3350
☎+81 47 420 3352
ウェブサイト: www.folex.co.jp
メール: mail@folex.co.jp